

『チンポマン』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『チンポマン』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『チンポマン』を読んだことのある10代～50代の男女13名
調査期間	2026年1月15日～2026年1月19日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/chinpoman5/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えて下さい。

Q2: 『チンポマン』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1: 年代と性別を教えて下さい。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	1人
30代女性	2人
40代男性	3人
40代女性	6人
50代男性	0人
50代女性	1人

Q2: 『チンポマン』の感想を教えて下さい。

チンポマン 第一話	意中の女性はいつも、自分の本性を明かせないという葛藤。という設定なんですが、自分の置かれている立場を楽しんでいるようでちょっと驚きました。この辺がこの作者のこだわりなんですよ
-----------	---

	うけどね。あと、すごく少女が可愛いです。木内さんは本当に惹かれる。素朴な魅力って描くの難しいんですけど上手く表現できています。
チンポマン 第一話	女の子からも一切モテない主人公が、スクールカースト上位の女子たちに利用されながらおどおどしている姿が印象的でした。最初は可哀想だと思っていたのですが、結構主人公にもクズなところがあるので同情すべきかどうかわからなくなっています。主人公の中の正義感がおかしくなってしまったりと、人間の心理を深いところまで描けているのがこの作品の良さだと思いました。
チンポマン 第一話	髪の毛長い方がなんて偉そうに言ってましたが、やはり彼女はショートヘアでしょう。明るくてかわいいクラスの人気者。そんなに好かれてるかもなんておこがましい。いろんなところでウザさが目立つ。これほどまで嫌悪する主人公ってなかなかないかも。それもまた一種の才能かも。やられるヤンキー女子たちがほんとかわいそう。
チンポマン 第二話	今回とてもかわいそうな目に遭ってしまうヒロインの木内さんですが、この子がめちゃくちゃ可愛いいんです…！今どきの学生さんというよりは、どこか田舎であどけない感じで。主人公が好きになってしまいうくらい、性格も良いのでしょう。ショートカットで、コマによってはショタっぽい雰囲気もあってすごく可愛いのです。可愛いだけに、本当に不憫です。
チンポマン 第二話	主人公であり悪役ですが、今まで想っていた女性と関係を持つことになります。といっても普通にお付き合いをするとかそういうことではなく、ヤンキー女たちからヒロインへの嫌がらせ目的なわけ…にも関わらず、いっちょ前に正義感のようなものを持っているところが気持ち悪すぎました。最後は少しお仕置き展開になりますが、この主人公にはもっとひどい目に遭ってほしいです。
チンポマン 第二話	かわいそうがドキドキする。そんな方たちにピッタリの作品ですね。前回もかわいそうでしたが、所詮はヤンキー女子たち。自分たちが悪いんでしょとも思えていました。ですが今度は木内さんです。彼女、何も悪いことやってません。むしろこの作品の太陽といった感じで輝いていたのに。そういうのを地に落とすことでかわいしさを出す。サイテーすぎる展開。
チンポマン 第三話	主人公の独特的な正義感と倫理観に怖気が立つ作品です。しかもこれ第三話目です。続き物なので、その作品の数だけ木内さんをはじめとして他の女の子が被害を受け続けるんですよね。そういう意味でとても後味が悪いです。唯一の救いは絵柄がスッキリしていて爽やかなことですが、それも主人公と莉子がやってることで全部台無しになってしまいます。そんな後味の悪さを含めて楽しめる方向きの内容だと思います。個人的に主人公にめちゃくちゃにされて横田と木内さんの関係がこれからどうなっていくのか気になるという感じです。
チンポマン 第三話	いい意味でも悪い意味でも変わらない主人公ですね。まさかの前科が付いてしまうとは。最低な奴でしたが、社会的な立場としても最低な奴に成り下がっていました。そんな彼は出てきたところでやっぱり最低。誰も更生させることなどできなかつたわけですね。よく第3話まで続いている。そのことにこそ驚きだったりします。
チンポマン 第四話	こちらの作品、一度読み始めたらもう止まらない。ノンストップ漫画です。こんなにも気持ち悪いのにはじめは思いますが、毎度最後に驚きが。それが快感になるんです。気持ち悪さと爽快感のバランスが絶妙で、なかなかこういった作品ってのは他にはないですよね。4話まで続いているのがよくわかる。まだまだ読みたくなっています。
チンポマン 第四話	清田智久の存在感すごすぎです。このキャラだけでいくらでもこの先話を作れるくらい個性を放っています。4話は、呼び出し食らってその先には女子ヤンキーがいて…という想像通りの展開です。まず、「この女子で妥協するか」「木内さんから告白してくれるのを待つか」という2択がありにも贅沢。自尊心が極めて高いところにオタクは共通点を感じざるを得ないと思います。
チンポマン 第四話	最初に出てくるのがまさかの男同士で。確かに男しかおらず、そういう欲が溜まりやすい少年時代。更にはどうしても集団でいると上下関係もできるわけで、実際の少年院でもこういったことは当たり前に行われているのでしょうか。するとほんと嫌すぎる。今回も気持ち悪すぎる画像に目をそむけたくなるも、やっぱりさらに読みたくなるんですよね。
チンポマン 第五話	ただ主人公がきもくて腹が立つだけだと思ってた作品ですが、意外とちゃんとしたストーリー性があったんですね。まさかの伏線回収ばっちりで、いろいろと腑に落ちることがある。ストーリーのち

	密さもあってここまで続いてきたのかもしれません。それにしても、作者が経験ありかというくらい被害者感情の描き方がうまいんですよね。
チンポマン 第五話	千夏ちゃんが結局どのルート辿っても墮ちていく雰囲気でそこは暗澹とした感じに。でも、清田の終わってる感はますます高まっていて、そこがこの作品のある意味「純粹」な部分です。千夏ちゃんに好きな人がいるという設定もかなり心にズシンと来ますね。噂を気にしつつも、清田との現実の関係を受け入れられないでいる反応も良かった。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス